

消化器

英語名：Digestive system

ユニット責任者：消化器・肝臓内科 教授 伊東 文生

ブロック名		期間	ブロック責任者
第4ブロック	消化器④	4月17日～4月20日	山本 博幸
第5ブロック	消化器⑤	7月17日～7月20日	小林 慎二郎

1. ユニット概要・学習内容

消化器系疾患について、基本的事項を学習することが本ユニットの目標である。大きく5つのブロックから構成される。第3学年では第4ブロックとして小腸・大腸疾患、第5ブロックとして胆膵疾患を学ぶ（第2学年では第1ブロックは食道疾患、第2ブロックは肝疾患、第3ブロックでは胃・十二指腸疾患を学んでいる）。各疾患について臨床実習に生かされるよう、それぞれの消化器疾患の病態に力点をおいて学習する。

2. 到達目標

- 1) 小腸・大腸疾患の概要、疫学、病理、病態を説明できる。
- 2) 小腸・大腸疾患の診断・治療の概略を説明できる。
- 3) 胆膵疾患の概要、疫学、病理、病態を説明できる。
- 4) 胆膵疾患の診断・治療の概略を説明できる。

3. 学習上の注意点

消化器疾患は非常に多岐にわたる。多くの日常的遭遇する症候があり、臨床的重要疾患も数多くふくまれる。また機能性疾患、炎症性疾患、腫瘍性疾患など病態理解が求められる。それぞれのブロックで十分予習・復習を含めて内容を把握していただきたい。

4. 教科書・参考書

教科書

- 1) 「内科学」（西村書店）

（書評）大変図表が充実しており、理解しやすい内容である。分量も多すぎず、事前学習には適している。

- 2) 「カラーイラストで学ぶ 集中講義 解剖学」（メディカルビュー）

（書評）解剖学の全領域が程よい分量で1冊にまとまっている。フルカラーの図版、各項目内容を要約した模範解答やキーワードを載せた、学習しやすい構成内容。

- 3) 「標準組織学各論」(医学書院)
(書評) 2016年に最新の第5版となり、組織写真や模式図がアップデートされた。
次年度に控えている組織学実習の指定教科書。
- 4) 「新臨床外科学」(医学書院)
- 5) 「標準病理学」(医学書院)
- 6) 「外科病理学」(文光堂)
- 7) 「標準外科学 第14版」(医学書院)
- 8) 「画像診断コンパクトナビ」(医学教育出版社)

参考書

- 1) 「カラー図解 人体の正常構造と機能」(医事新報社)
(書評) 基礎的知識を理解するために役立つ。消化器の辞書的に用いることができ、内容も豊富で詳細にわたっている。
- 2) 「グレイ解剖学」(エルゼビア・ジャパン)
(書評) 図がきれいで、詳しい、優れた局所解剖学書である。高学年での臨床解剖学の学習にも適しているため、長く使える良書である。

5. 成績評価

評価項目	実施回数	評価割合	備考
定期試験	2	90 (%)	前期中間④、前期期末⑤
TBL		10 (%)	授業態度を評価します。

当ユニットでは学年末再試験を実施する。

6. オフィスアワー

所属	役職	氏名	時間	場所	連絡先
消化器・肝臓内科	准教授	山本 博幸	木曜日 14:00~15:00	医学部本館3階 消化器・肝臓内科 医局	内線 3380
消化器・一般外科	講師	小林 慎二郎			メール koharubiyori

メールアドレスは @marianna-u.ac.jp が省略